

令和4年度 長岡市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和5年5月

長岡市（新潟県）

○計画期間:平成31年4月～令和6年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、平成31年3月に内閣総理大臣の認定を受け、同年4月からスタートした「長岡市中心市街地活性化基本計画（第3期計画）」に基づき、「まちを『つくる』『つかう』から『つなぐ』へ」をテーマに、持続可能な地方都市の再生を図るため、各種事業に取り組んでいる。

イベント等のソフト事業の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による行動制限の緩和などにより、令和4年度は中心市街地の商店街において、歩行者天国や歩道空間を活用した飲食イベントが開催されるなど、民間団体による賑わい回復に向けた様々な活動が少しずつ再開し始めている。

また、市内4大学1高専の学生と地域おこし協力隊員で構成された団体が、N a D e C構想実践の場である「N a D e C B A S E」を拠点に、まちづくりをテーマにしたイベントや活動を始めている。長岡駅前を中心に若者目線で作成した飲食店マップの制作や、令和7年度に全館オープン予定の「米百俵プレイス ミライエ長岡」内の「若者ラボ」の機能を地元中高生と自由に考えるイベントの実施など、若者ならではの活動が中心市街地内で盛り上がりを見せている。

ハード整備においては、大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業で4街区から構成される米百俵プレイスのうち3街区（A-1街区、A-2街区、C街区）の施設建築物の建設工事を実施しており、令和5年度の竣工に向けて順調に進捗している。事業完了後には歩行者通行量や若者の居住人口の増加など、目標達成に向けて大きな事業効果が発現すると想定している。今後も引き続き計画に位置付けた活性化事業を着実に推進し、各目標の達成に向け、官民連携して各種事業に取り組んでいきたい。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度3月31日）

（中心市街地 区域）	平成30年度 （計画前年度）	令和元年度 （1年目）	令和2年度 （2年目）	令和3年度 （3年目）	令和4年度 （4年目）	令和5年度 （5年目）
人口	5,660	5,685	5,596	5,501	5,532	
人口増減数		25	-89	-95	31	
自然増減数		-48	-64	-71	-65	
社会増減数		73	-265	-104	51	
転入者数		281	290	210	254	

※計画前年度以前の区域の人口増減数等が把握できておらず記載ができないもの。

(2) 地価

(基準日：毎年度1月1日 / 単位：円/㎡)

	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)
4 地区前年度比 平均変化率		98.5%	97.7%	98.0%	98.1%	
大手通 1-4-3	248,000	244,000	238,000	233,000	229,000	
台町 2-2-8	114,000	112,000	109,000	106,000	103,000	
殿町 2-2-6	97,700	96,500	94,800	92,700	90,700	
表町 1-9-12	106,000	105,000	103,000	102,000	101,000	

2. 令和4年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第3期計画の5か年計画中の4年目となる令和4年度においては、全71事業の内66事業が実施されており、計画に基づき着実に進捗していると評価する。

目標指標の「まちを『歩く人』を増やす」、「まちに『集う若者』を増やす」については、新型コロナウイルス感染拡大により行動が制限された影響を受け、基準値を下回る傾向が続いているが、令和4年度は歩行者天国など各種イベントの再開により、休日の歩行者通行量は大幅に増加しており、賑わい回復の兆しが表れている。本年7月には「米百俵プレイス ミライエ長岡」の先行オープンが予定されており、回遊性を高める事業や民間団体との連携によるソフト事業の実施・支援を積極的に行うことで、中心市街地の賑わいづくりの機運を高めていきたい。

また、「まちで『起業する人』を増やす」については令和3年度の起業件数を上回っており、起業支援センターCLIP長岡による相談対応や、市内4大学1高専と産業界、行政が参画する「N a D e C構想」に基づく段階的な起業支援事業の「ファーストペンギンプログラム」、女性や若者向けの起業イベントの実施など、まちなかでの起業を志す人々への支援が実を結んでいるものと評価できる。

当協議会では、まちなかで活動するプレイヤーの発掘に向け「まちづくり部会」の運営を通じて、まちに住み、働き、活躍する人々と情報を共有し、新しい取り組みを活発に行っている若者をはじめとした、まちなかで活動する人材の発掘と支援を行うとともに、まちなかの新たな賑わいづくりに繋がる事業を実施していきたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
まちを「歩く人」を増やす	大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量 (平日)(人/日)	24,409 人/日 (H29)	26,652 人/日 (R5)	17,046 人/日 (R4)	C	①	①
まちで「起業する人」を増やす	中心市街地内の起業数 (件/5年)	25 件/5年 (H26～30)	40 件/5年 (R1～5)	22 件/4年 (R1～R4) ※R4は7件	C	①	①
まちに「集う若者」を増やす	30代以下のまちなか居住人口(人)	1,656 人 (H29)	1,724 人 (R5)	1,467 人 (R4)	C	①	①
(参考指標)	学生限定のバスサービス利用者数(人)	78,881 人 (H29)	80,419 人 (R5)	—	—	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

目標「まちを『歩く人』を増やす」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度から3年度にかけて歩行者通行量は大幅な減少傾向を示していたが、令和4年度は横ばいとなり、下げ止まりの傾向に転じている。これは行動制限の緩和によって、街を訪れる・出歩く人やまちなかを拠点に活動する市民の姿が徐々に戻り始めてきていることが要因と推測する。今後はイベント等ソフト事業を新型コロナウイルス感染拡大前のように少しずつ展開していくことや、本年7月に「米百俵プレイス ミライエ長岡」が先行オープンすることにより市民活動が活発化し、回遊性が広がると推測されることから、目標達成は可能と見込まれる。

目標「まちで『起業する人』を増やす」については、長岡市内の4大学1高専、長岡商工会議所、長岡市の「N a D e C構想」に基づく段階的な起業支援事業「ファーストペンギンプログラム」や、起業支援センターCLIP長岡を主体とした起業イベント等を継続して実施しており、これにより老若男女が起業しやすいサポート体制が整備されていたことから令和4年度は中心市街地内に7件もの起業が成立した。今後は、新潟版未踏的人材育成事業によるIT人材育成の起業プログラムを令和5年度に初めて実施し、新潟県内に住むIT知識やスキルを有する学生や若者のクリエイター発掘・育成をすることで、若者の起業件数の増加に繋げる。また、リーンローンチパッドプログラムやU・Iターン創業応援事業により、新潟県内に移住し起業を目指す人等へ

の支援の継続や、起業関連の講演やセミナーの開催、外部有識者によるメンタリング、ビジネスアイデアの事業化支援等を実施することで目標達成は可能と見込まれる。

目標「まちに『集う若者』を増やす」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年度以降、外国人労働者などの転出等が影響したことで居住人口が年々減少していたが、令和4年度は微増に転じた。これは、民間のマンション供給や「まちなか居住区域定住促進事業」の固定資産税の免除制度により、若者が中心市街地に転入・転居しやすい環境整備が進んでいることが起因している。今後は、これまで整備された子育て・活動・福祉環境と併せて、今後市街地再開発事業によるマンションや、「米百俵プレイス ミライエ長岡」を整備することで、若者にも住みよいまちづくりがさらに進められることから、目標達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

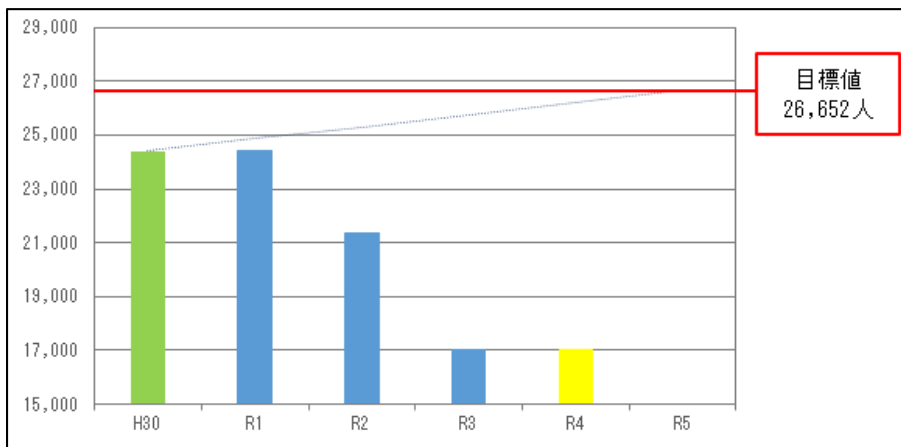
目標達成の見通しに変更はありません。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量（平日）」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 66 参照

●調査結果と分析



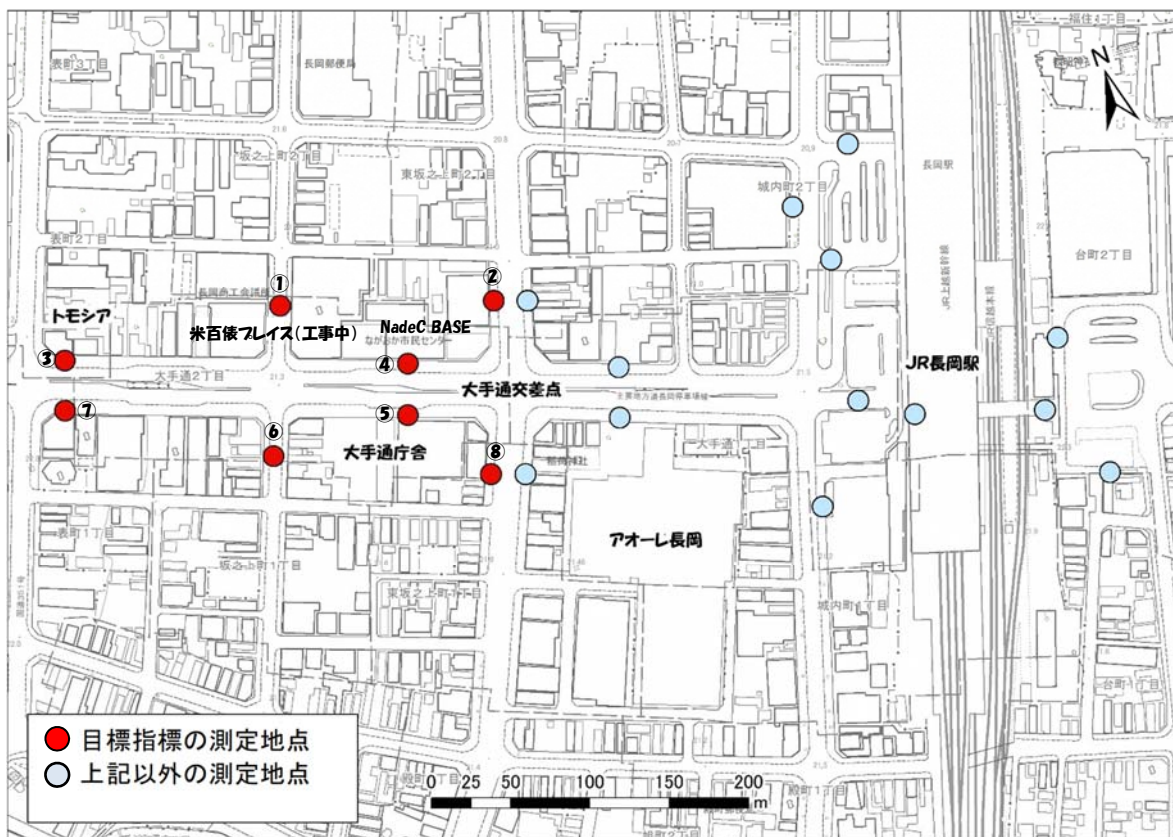
年	(単位)
H30	24,409 (基準年値)
R1	24,435
R2	21,357
R3	17,056
R4	17,046
R5	26,652 (目標値)

※調査方法：平日の午前7時から午後8時までの通行量を測定

※調査月：各年10月

※調査主体：長岡市

※調査対象：中心市街区域内のうち、大手通交差点から西側の計8カ所における自転車及び歩行者



(単位：人)

	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)
① 旧三井生命ビル前	2,092	2,153	2,247	2,084	1,840	
② 市民センター前	4,864	4,380	4,274	3,197	2,800	
③ 旧長岡商工会議所前	2,801	3,436	2,240	1,388	2,072	
④ ながおか町口御門前	2,806	2,704	2,631	3,083	2,795	
⑤ ショッピングイン大手前	2,830	2,916	2,466	1,893	2,067	
⑥ 旧メンズショップバートン前	1,624	1,852	1,331	1,029	1,064	
⑦ フェニックス大手イースト前	5,445	5,095	4,408	2,985	3,023	
⑧ いろはにほへと前	1,947	1,899	1,760	1,397	1,385	
合計	24,409	24,435	21,357	17,056	17,046	

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症拡大や大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業の工事が開始されてから、各調査地点で歩行者通行量が年々減少していたが、令和4年度の全体の通行量は昨年度とほぼ同数という結果となり、下げ止まりの傾向を示している。調査地点「旧三井生命ビル前」「市民センター前」「ながおか町口御門前」については昨年度から約10%減少しているが、「旧長岡商工会議所前」については、工事関係者や銀行利用者により昨年度から149%と通行量が大幅に増加している。また「ショッピングイン大手前」「旧メンズショップバートン前」「フェニックス大手イースト前」については、昨年秋に竣工した民間マンションの入居者により通行量が増加していると推測する。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業（独立行政法人都市再生機構、長岡市）

事業実施期間	平成29年度～令和7年度【実施中】
事業概要	市街地再開発事業により、公共公益、業務、商業施設、集合住宅、駐車場等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（平成29年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	4街区から構成される米百俵プレイスのうち3街区（プレミスト大手通（A-1街区）、西館（A-2街区）、北館（C街区））の施設建築物の建設工事を実施しており、事業完了に向けて順調に進捗している（令和5年度竣工予定）。 上記3街区の事業完了により266人/日の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	令和5年度から東館（B街区）建設工事に着手し、令和7年度竣工予定。

②. まちなか図書館（仮称）整備事業（長岡市）

事業実施期間	平成30年度～令和7年度【実施中】
事業概要	大手通坂之上町地区市街地再開発事業において、図書館機能を含む複合施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	①社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（長岡市中心市街地地区））（国土交通省）（平成30年度～令和元年度） ②都市構造再編集中支援事業補助金（長岡市中心市街地地区）（国土交通省）（令和2年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和2年度に策定した「米百俵プレイス（仮称）人づくり・学び・交流エリアまちなか図書館（機能）基本計画」に基づき、令和4年度は選書作業を行い、開設準備を進めた。 事業完了時には920人/日の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	令和3年4月から建築工事に着手した。令和3年度に策定した「米百俵プレイス ミライエ長岡 まちなか図書館（互尊文庫）サービス計画」に基づき、令和5年夏の一部開館に向け準備を進める

③. 産学連携情報交流センター（仮称）整備事業（長岡市）

事業実施期間	令和元年度～令和7年度【実施中】
事業概要	大手通坂之上町地区市街地再開発事業において、地元産業の開発・研究・情報発信等の拠点となる施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	①社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（長岡市中心市街地地区））（国土交通省）（令和元年度） ②都市構造再編集中支援事業補助金（長岡市中心市街地地区）（国土交通省）（令和2年度～4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和元年度に委託した実施設計に基づき、令和4年度は市の商工担当部署で、求められる機能や運営体制を検討した。 事業完了時には665人/日の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	令和3年4月から建築工事に着手した。令和3年度に委託した「米百俵プレイス ミライエ長岡 イノベーションサロン（仮称）機能・運営体制検討業務」に基づき、令和5年夏の一部開館に向け準備を進める。

④. トモシア交流支援事業（社会福祉法人長岡市社会福祉協議会、長岡市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	社会福祉センタートモシアで市民の交流の場を提供するとともに、ボランティア活動を支援し広く発信する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （平成31年4月～令和6年3月）
事業目標値・最新	令和4年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染対策の利用制

<p>値及び進捗状況</p>	<p>限緩和と相まって、順調に回復傾向にある。全体の利用者数は、3年度が30,416人に対し、4年度は39,572人と前年比30.1%の増加となっている。</p> <p>これは、開館から6年を迎えた「トモシア」の存在が市民に浸透してきたことと同時に、新しい生活様式を实践するうえでも使い勝手の良さや現場職員の対応などが、広く市民から受け入れられていることが推察できる。</p> <p>また、トモシア内のボランティアセンターにおけるボランティア相談件数は、3年度が736件に対し、4年度は883件と前年比約20%の増加となっている。</p> <p>これは、感染対策の緩和により、ボランティア・市民活動も活動再開の機運が高まっていることが窺える。一方で、社会的に生きづらさを抱える人の社会参加や居場所づくり、生活困窮者の就労へ向けた一歩としての活動に関する相談が増えており、コーディネートする上での幅広い見識が求められてきている。</p>
<p>事業の今後について</p>	<p>引き続き、市民に広く受け入れられる施設を目指し、指定管理者と協議しながら、世代に応じた情報発信や、新しい生活様式を実施しながらも交流できるようなプログラムを検討するとともに、来館者に対する接遇向上に努めていく。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

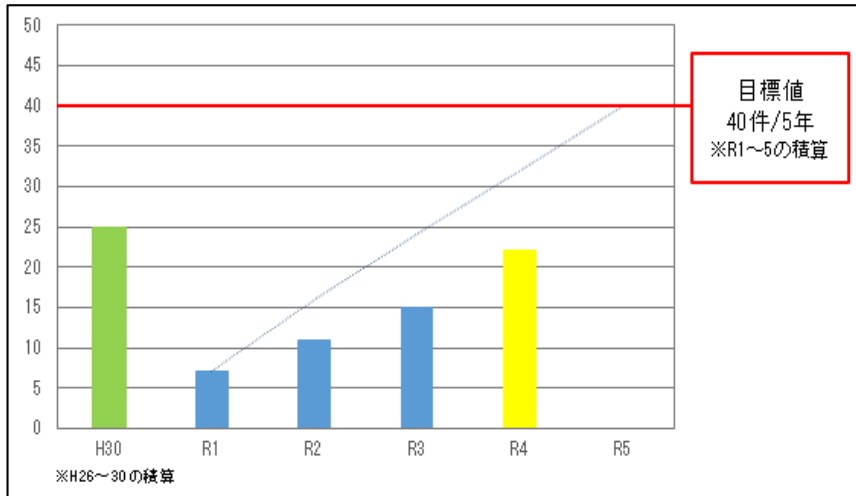
新型コロナウイルス感染症の影響で、まちなかを訪れる人や活動する人の行動制限により、令和2年度から3年度にかけて大幅に減少した平日の歩行者通行量は、令和4年度に横ばいとなった。これは行動制限の緩和によって、街を訪れる・出歩く人やまちなかを拠点に活動する市民の姿が徐々に戻り始めてきていることが要因と推測する。

今後は市民参加型のイベント等ソフト事業を、新型コロナウイルス感染拡大前のように少しずつ展開していくことで、再びまちなかを訪れる人が増え、また、本年7月に賑わいの核となる、「米百俵プレイス ミライエ長岡」が先行オープンすることで、市民活動が活発化し、回遊性が拡がると推測されることから、目標達成は可能と見込まれる。

(2) 「中心市街地内の起業数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 67～P. 69 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H26 ～30	25 (基準値)
R1	7
R2	11
R3	15
R4	22
R5	40 (目標値)

※調査方法： 長岡市、ながおか・若者・しごと機構及び起業支援センターながおか相談者へのヒアリング

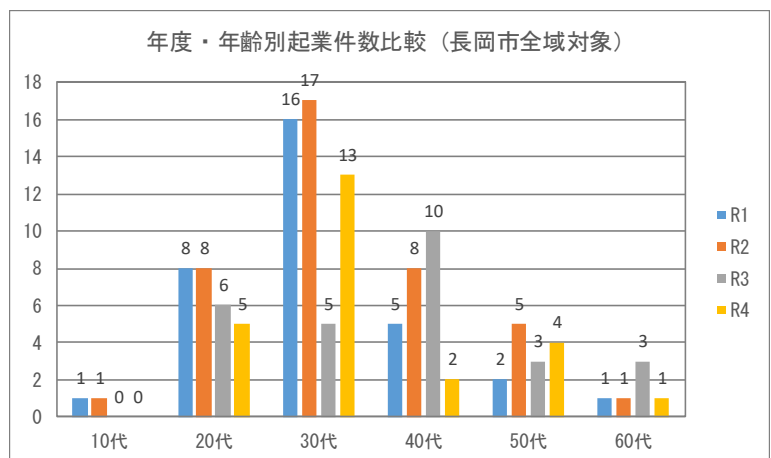
※調査月： 平成31年4月～令和6年3月の5年間の累計（毎年度3月末調査）

※調査主体： 長岡市

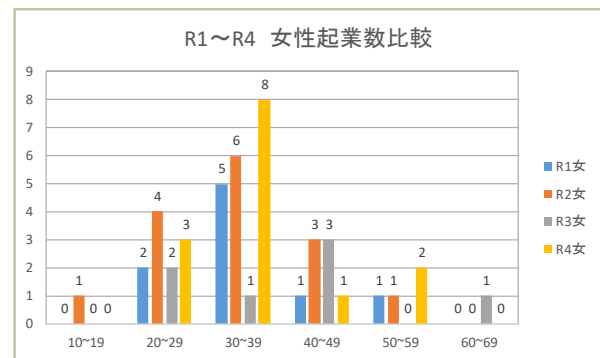
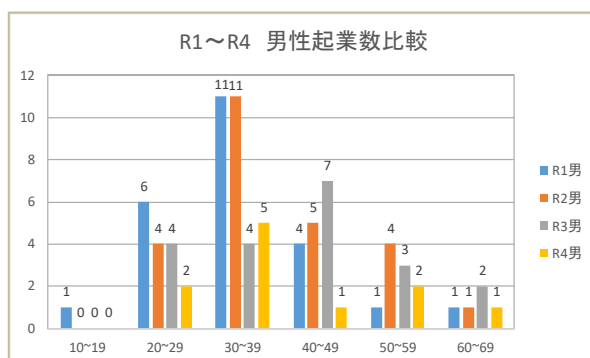
※調査対象： 中心市街地区域内での起業者

〈分析内容〉

- ・中心市街地内の起業数は、令和元年度と同じ7件と、令和2・3年度よりも増加している。
- ・長岡市全域の起業数及び男性の起業数は年代別にみても、例年よりも減少傾向となっているが、女性の起業数は特に30代が増加し他の年代でも例年並みとなっている。これは女性や若者向けの起業イベントを実施することで、女性にとって



起業をより身近に感じれるよう広め続けていたものが効果となって継続して表れているものと推測する。



●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. NaDeC構想先行実施事業（NaDeC構想推進コンソーシアム、
市内4大学1高専、長岡商工会議所、長岡市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	大手通坂之上町地区市街地再開発事業への導入を検討するNaDeC構想について、既存施設で先行的に実施して検証を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府） （令和元年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成30年6月から先行実施施設NaDeC BASEを開設し、事業を実施。市内4大学1高専の学生教職員を中心に地域企業関係者や市民の利用が新たに発生している。 平成30年度NaDeC BASE 利用者数18,436名 （うちものづくり工房新規利用者数 13名） 令和元年度NaDeC BASE 利用者数16,000名 （うちものづくり工房新規利用者数 55名） 令和2年度NaDeC BASE 利用者数 3,354名（7か月） （うちものづくり工房新規利用者数 43名） 令和3年度NaDeC BASE 利用者数 4,999名 （うちものづくり工房新規利用者数 50名） 令和4年度NaDeC BASE 利用者数 7,208名 （うちものづくり工房新規利用者数 83名） 事業完了時には10件/5年の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	令和2年9月にNaDeC 構想実践の場を中心市街地の市有施設内に移転。新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、オンライン配信やテレワーク環境の整備を行い、新たな可能性を見出す産業支援、人材育成、交流事業を実施。 市民や事業者など多様な人が出入りする立地の利点や、併設する「起業支援センターCLIP長岡」と連携して、学生や市民のスタートアップの機運醸成を図りたい。

②. 若者チャレンジショップ事業（ながおか・若者・しごと機構）

事業実施期間	平成30年度～令和元年度【完了】
事業概要	起業を目指す若者を支援するため、体験出店、セミナー、個人相談を実施する。
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （平成31年4月～令和元年10月）
事業効果及び進捗状況	<令和元年度実施事業> ○若者チャレンジショップ in 五・十の市 五・十の市におけるお試し出店の機会を提供 支援内容：出店経費補助、出店に係る備品貸与

	<p>出店者：3 人</p> <p>○若者チャレンジショップ出店講座 起業支援センターながおか clip への業務委託により、講義とまちなかでのお試し出店をセットにした講座（全 4 回）を開催</p> <p>第 1 回：出店計画セミナー（受講者：8 人） 第 2 回：お試し出店（出店者：8 人） 第 3 回：課題振り返りセミナー（受講者：6 人） 第 4 回：リベンジ出店（出店者：6 人）</p> <p>○若者チャレンジショップ in 米百俵まつり 米百俵まつりにおけるお試し出店の機会を提供</p> <p>支援内容：出店経費補助 出店者：5 人</p> <p><事業効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地での起業・出店者 1 人 ・ 中心市街地における起業マインドの醸成 <p>事業完了時には 3 件/5 年の事業効果を見込んでいる。</p>
<p>事業の今後について</p>	<p>ネット通販の浸透など消費行動の変化に伴い、店舗型の起業・出店のニーズは年々低下し、参加者も固定化しているため、チャレンジショップ事業としての支援は令和元年度で終了する。今後、若者の起業・創業は「若者提案プロジェクト実現事業」等によって店舗型に限らず幅広く支援していく。</p>

③. 学生起業家育成事業（長岡市、長岡商工会議所、起業支援センターCLIP 長岡、市内金融機関）

<p>事業実施期間</p>	<p>平成 30 年度～【実施中】</p>
<p>事業概要</p>	<p>NaDeC BASE をメイン会場に、学生の起業創業のサポートを行う。</p>
<p>国の支援措置名及び支援期間</p>	<p>地方創生推進交付金（内閣府） （令和元年度～5 年度）</p>
<p>事業目標値・最新値及び進捗状況</p>	<p><学生起業家育成事業による起業件数></p> <p>H30 年度：1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拾壱・ビッグストーン株式会社 <p>R1 年度：2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベイビーチャップリン ・ 株式会社サケアイ <p>R2 年度：5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社プロッセル ・ 株式会社 THE TWO ・ 株式会社雷神 ・ すまいるカフェ

	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会社発酵を科学する研究所 <p>R3 年度：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社パンタレイ ・Rural Reading (ル-ラル リーディング) ・株式会社スタイルアーツ <p>R4 年度：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペえペえでざいん ・暮らしの雑貨店 HOPI ・合同会社サトラボ <p><事業効果></p> <p>中心市街地内の起業数 3件</p> <p>事業完了時には2件/5年の事業効果を見込んでいる。</p>
<p>事業の今後について</p>	<p>起業関連の講演やセミナーの開催により起業の機運醸成・学習機会の提供を行うとともに、外部有識者によるメンタリングを実施しビジネスアイデアの事業化を支援する。事業化の際には学生起業家育成補助金を支給し、資金的な援助を行う。起業後についても、定期的・継続的に事業実施状況を確認し、成長につながる支援を実施する。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

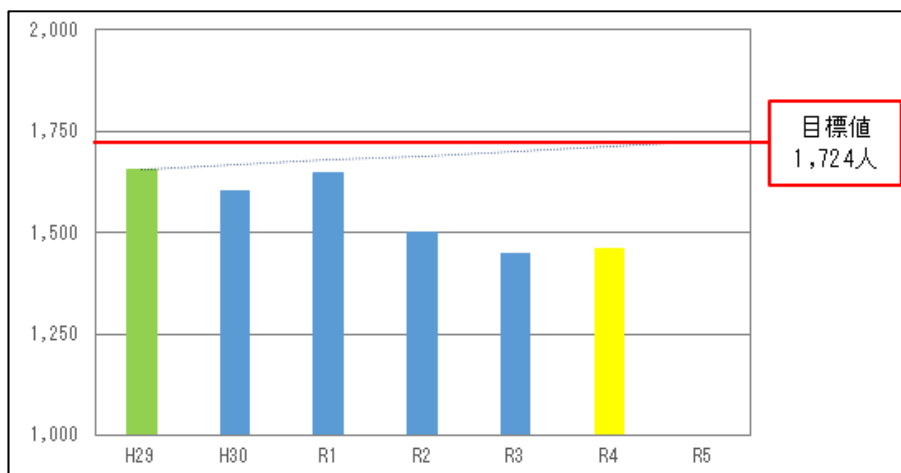
令和4年度の中心市街地内における起業数は昨年度の4件に対して7件と増加している。これは、長岡市内の4大学1高専、長岡商工会議所、長岡市の「N a D e C構想」に基づく段階的な起業支援事業「ファーストペンギンプログラム」や、起業支援センターCLIP長岡を主体とした女性や若者向けの起業イベントを継続して実施することで、老若男女が起業しやすいサポート体制が整備されていることから起業数の伸びに繋がったと推測される。

今後は、新潟版未踏的人材育成事業によるIT人材育成の起業プログラムを令和5年度に初めて実施し、新潟県内に住むIT知識やスキルを有する学生や若者のクリエイター発掘・育成をすることで、若者の起業件数の増加に繋げる。また、リーローンチパッドプログラムやU・Iターン創業応援事業により、新潟県内に移住し起業を目指す人等への支援の継続や、起業関連の講演やセミナーの開催、外部有識者によるメンタリング、ビジネスアイデアの事業化支援等を実施することで目標達成は可能と見込まれる。

(3) 「30代以下のまちなか居住人口」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 70～P. 73 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H29	1,656 (基準年値)
H30	1,605
R1	1,646
R2	1,502
R3	1,450
R4	1,460
R5	1,724 (目標値)

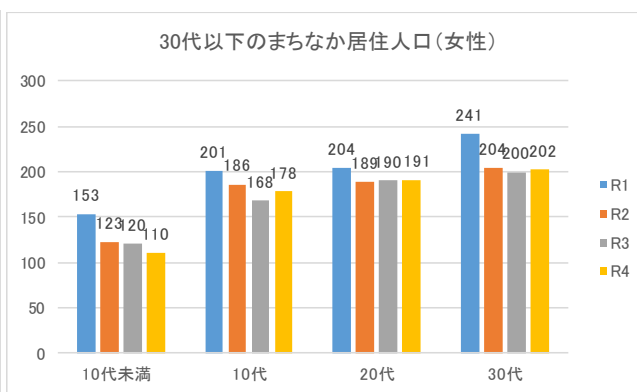
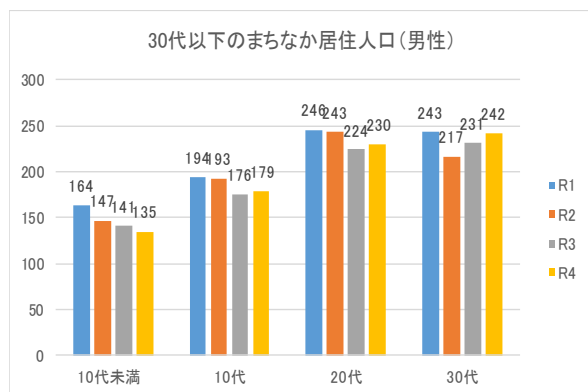
※調査方法： 住民基本台帳

※調査月： 各年度3月末時点

※調査主体： 長岡市

※調査対象： 中心市街地区域内の39歳以下の人口

〈分析内容〉



- ・10代～30代の男性及び女性については横ばいもしくは微増しており、R3年度よりも数値を持ち直している。一方で、10代未満については引き続き減少している。これは、新型コロナウイルスの影響による外国人労働者の転入出や出生率の伸び率が影響を及ぼしているものと推測される。
- ・大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業によるマンションの工事完了が令和5年6月を予定しており、居住環境の整備が完了することから、まちなかへの居住人口が今後増加すると推測する。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業（独立行政法人都市再生機構、長岡市）

事業実施期間	平成29年度～令和7年度【実施中】
事業概要	市街地再開発事業により、公共公益、業務、商業施設、集合住宅、

	駐車場等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（平成29年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	4街区から構成される米百俵プレイスのうち3街区（プレミスト大手通（A-1街区）、西館（A-2街区）、北館（C街区））の施設建築物の建設工事を実施しており、事業完了に向けて順調に進捗している（令和5年度竣工予定）。 上記3街区の事業完了により266人/日の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	令和5年度から東館（B街区）建設工事に着手し、令和7年度竣工予定。

②. 若者のまち居場所づくり推進事業（長岡市、民間事業者）

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【実施中】
事業概要	旧柳原分庁舎敷地を活用し、若者が居住できる環境を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	民間資金等活用事業調査費補助事業（内閣府）（令和2年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和2年度は、「PFI等の導入可能性調査業務委託」を簡易評価型プロポーザル方式により実施。委託業者を中心に、市内4大学1高専の学生を対象としたアンケートやワークショップなどのニーズ調査のほか、民間事業者向けの意向調査も実施し、敷地活用の方向性について調査を行った。 令和3年度は、活動をするうえで必要な電気・水道のインフラ整備を行い、事業の推進と機運醸成、敷地の利用価値を高めるための環境を整えた。 令和4年度は、NPO法人が主催して当該敷地を会場にした活動を2回開催。7月には大学生を対象としたまち歩きとワークショップ、2月には大学生が企画して地域住民も参加する雪を楽しむイベントを実施した。 事業完了時には50人の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	引き続き、「若者の活動」や「地域の交流」を目的としたイベントやワークショップ等で土地を活用してもらい、価値や認知度を高めていながら、現在整備中の「米百俵プレイス」の完成も見据えた敷地の活用に向けた検討を進めていく予定である。

③. まちなか建物更新等支援事業（まちづくりを目指す団体、民間事業者、長岡市）

事業実施期間	平成28年度～令和7年度【実施中】
事業概要	老朽建築物や空き地の共同化による市街地環境の整備・改善を行う事業者を支援する。
国の支援措置名	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国交省）

及び支援期間	(平成29年～令和5年) [認定基本計画：国の支援措置なし]
事業目標値・最新値及び進捗状況	優良建築物等整備事業を進めている1地区(大手通界限D地区)では、基本設計が完了し、事業化に向けて準備を進めている。 また、中心市街地活性化基本計画区域において建築後30年が経過した老朽化した建物が増えてきており、共同化による建替支援を検討する市民からの問い合わせが増加している。 事業完了時には28人の事業効果を見込んでいる(本事業等によるマンション供給を含む)。
事業の今後について	1地区(大手通界限D地区)では、令和6年度以降に実施設計、除却工事、建設工事の実施を予定しており、竣工に向けて引き続き支援を行う。

④. まちなか居住区域定住促進事業(長岡市)

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	まちなかへの転入者が住宅を購入等して居住する場合、固定資産税を免除する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	1.事業目標値 41人/年 「まちなか居住区域定住促進事業」等の効果により中心市街地へ入居する子育て世帯を10世帯 世帯人数を4.1人(長岡市内の未就学児、小学生の兄弟数の平均2.1人+両親) として、10世帯×4.1人=41人 ※長岡市中心市街地活性化基本計画<第3期計画 参照> 2.最新値 平成30年 申請期間 平成30年4月1日～平成31年1月31日 子育て世帯 8人(2件) 全体 26人(13件) 令和元年 申請期間 平成31年2月1日～令和2年1月31日 子育て世帯 53人(12件) 全体 96人(37件) 令和2年 申請期間 令和2年2月1日～令和3年1月31日 子育て世帯 31人(8件) 全体 40人(14件) 令和3年 申請期間 令和3年2月1日～令和4年1月31日 子育て世帯 84人(24件) 全体 118人(43件) 令和4年 申請期間 令和4年2月1日～令和5年1月31日 子育て世帯 54人(14件) 全体 73人(27件) 計 230人(60件) 計 353人(134件)

	<p>3.事業進捗状況</p> <p>平成30年はパンフレットやHP等による広報を行ったが、制度開始直後ということもあり、目標値を達成することができなかった。令和元年は時間経過により制度に関する認知が浸透してきたこともあり、目標値を大幅に上回る申請があった。令和2年は前年と比べて申請件数の減少がみられたが、令和3年は新築マンション等に制度周知のお知らせ文をポスティングする等の効果もあり、件数が大幅に増えた。令和4年は駅周辺のマンション分譲に伴い、目標値を上回る申請となった。</p> <p>事業完了時には41人の事業効果を見込んでいる。</p>
事業の今後について	今後も様々な方法で情報発信を行い、周知を行っていくことでさらなる制度利用を促進する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

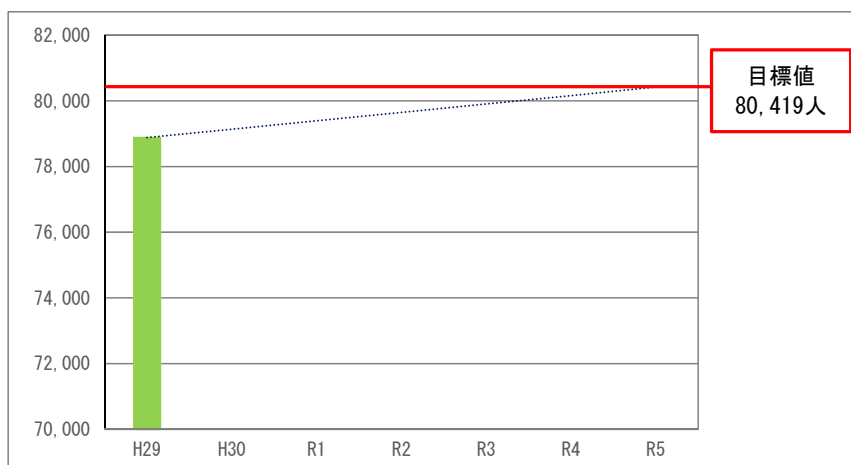
新型コロナウイルス感染症の影響による外国人労働者などの転出や、若者の結婚や出産を控える傾向から、令和元年度以降の居住人口は年々減少していたが、令和4年度は微増に転じた。これは、民間のマンション供給や「まちなか居住区域定住促進事業」の固定資産税の免除制度により、若者が中心市街地に転入・転居しやすい環境整備が進んでいることが起因している。

これまでの子育て・活動・福祉環境と併せて、今後市街地再開発事業によるマンションや、「米百俵プレイス ミライエ長岡」を整備することで、若者にも住みよいまちづくりがさらに進められることから、目標達成は可能と見込まれる。

(参考指標) 学生限定のバスサービス利用者数

※目標設定の考え方認定基本計画 P.74~P.75 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H29	78,881人 (基準年値)
R5	80,419人 (目標値)

※調査方法：「ちよい乗りバス券」及びN a D e C構想事業シャトルバス等利用者の実数

※調査月：各年度4月から3月までの累計

※調査主体：長岡市

※調査対象：「ちよい乗りバス券」利用者及びN a D e C構想事業シャトルバス等を利用

する学生

※学生交流「ちょい乗りバス券」実証実験事業が早期完了しており、最新のバス利用者数が測れないことから最新値を表示できないもの。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか図書館（仮称）整備事業（長岡市）

事業実施期間	平成30年度～令和7年度【実施中】
事業概要	大手通坂之上町地区市街地再開発事業において、図書館機能を含む複合施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	①社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（長岡市中心市街地地区））（国土交通省）（平成30年度～令和1年度） ②都市構造再編集中支援事業補助金（長岡市中心市街地地区）（国土交通省）（令和2年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和2年度に策定した「米百俵プレイス（仮称）人づくり・学び・交流エリアまちなか図書館（機能）基本計画」に基づき、令和4年度は選書作業を行い、開設準備を進めた。 事業完了時には920人/日の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	令和3年4月から建築工事に着手した。令和3年度に策定した「米百俵プレイス ミライエ長岡 まちなか図書館（互尊文庫）サービス計画」に基づき、令和5年夏の一部開館に向け準備を進める。

②. 産学連携情報交流センター（仮称）整備事業（長岡市）

事業実施期間	令和元年度～令和7年度【実施中】
事業概要	大手通坂之上町地区市街地再開発事業において、地元産業の開発・研究・情報発信等の拠点となる施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	①社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（長岡市中心市街地地区））（国土交通省）（令和元年度） ②都市構造再編集中支援事業補助金（長岡市中心市街地地区）（国土交通省）（令和2年度～4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和元年度に委託した実施設計に基づき、令和4年度は市の商工担当部署で、求められる機能や運営体制を検討した。 事業完了時には665人/日の事業効果を見込んでいる。
事業の今後について	令和3年4月から建築工事に着手した。令和3年度に委託した「米百俵プレイス ミライエ長岡 イノベーションサロン（仮称）機能・運営体制検討業務」に基づき、令和5年夏の一部開館に向け準備を進める。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業であるハード整備については概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と見込んでい

る。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公共施設の利用者数は減少し続けていたが、「社会福祉センタートモシア」やN a D e C構想の先行実施施設「N a D e C B A S E」など、複数の施設では利用者数が徐々に回復傾向にある。これは感染対策の緩和により、市民によるボランティアなどの活動再開の機運が高まっていることや、テレワーク環境等の整備により、多様な方法で施設を利用する動きが広まってきていると推測する。引き続き、市民の利用しやすい環境整備を進めるなど、ハード整備の進捗と合わせて目標達成に向けて事業を進めていきたい。